

**官庁施設における木造耐火建築物の整備手法に関する検討
中間とりまとめ 目次（案）**

I.	木材を利用した耐火構造の技術的手法の整理、比較検討	
1.	位置と規模による制限	1
2.	耐火時間による階数の制限	
3.	耐火建築物が満足すべき技術的基準	
4.	木造を利用した場合の適合ルートA～Cの比較	
5.	適合ルートAの大臣認定を受けた構造方式の比較	
6.	大臣認定部材の開発者に対するヒアリング結果	
II.	実例の調査結果	
1.	調査施設	
2.	実例	
	(1) メンブレン	
	(2) 木質ハイブリッド型	
	(3) 混構造	
3.	工法別比較表（参考）	
III.	フィージビリティスタディ	
1.	目的	
2.	フィージビリティスタディの条件	
	(1) 企画段階での考察のポイント 純木造と混構造の選択	
	(2) 企画段階での考察のポイント 木造耐火の構造方式の選択	
	(3) 設計面からのポイント	
	(4) 混構造の整理	
1.	検討の流れ	
2.	組合せの検討	
	(1) 混構造の種類と規模との関係(燃え止まり型・メンブレン型)	
	(2) 防火関係の地域と規模の関係	
3.	条件の組合せからのケースの作成	
	(1) 燃え止まり型・メンブレン型	
	(2) 木質ハイブリッド型	
4.	3で作成したケースのプラン一覧	
	(1) 燃え止まり型・メンブレン型	

- (2)木質ハイブリッド型
- 5. プランの絞込み
- (1)燃え止まり型・メンブレン型
- (2)木質ハイブリッド型
- 6. ケーススタディのモデルプラン

IV. ケーススタディ

- 1. 施設概要・想定する施設イメージ
- 2. プランの検討
- (1) 階数・スパン・階高
- (2) 外壁
- (3) 床
- (4) 内壁・天井
- (5) 水平耐力要素
- 3. モデルプラン
- (1) タイプA
 - a. パース
 - b. 平面図
 - c. 断面図
 - d. 立面図
- (2)タイプB
 - a. パース
 - b. 平面図
 - c. 断面図
 - d. 立面図
- 4. 部位の検討
- (1) 設備機器・配管等と建築部位
- (2) 柱・壁、はり・壁の納まり（防火区画）
- (3) 水平抵抗要素の納まり
- (4) 縦穴区画（吹抜け部）
- (5) 外壁の納まり
- (6) カーテンウォール、区画庇、木製マリオンの納まり
- (7) RC部分との接合
- 5. 許容応力度計算
- (1) タイプA
 - a. 構造計画・検討方針

- b. 検討方針
- c. 構造計算フロー
- d. 構造計算フローに基づく検討手順
- e. 図面
- f. 検討結果

(2) タイプB

- a. 構造計画・検討方針
- b. 検討方針
- c. 構造計算フロー
- d. 構造計算フローに基づく検討手順
- e. 図面
- f. 検討結果

6. 概算コスト

V. 資料

- 1. 耐火被覆が不要な水平耐力要素での木材の利用
- 2. 外壁面での木材の利用
- 3. 防火区画をガラスで構成している事例
- 4. 耐火性能検証法を採用して設計を行った事例